



高耐候形屋上防水層保護用 **アクリルシリコン** 塗料

WBトツプセラシリーズ

WATER BARRIER TOPCERA SERIES



建築塗料の総合メーカー



スズカファイ株式会社

標準色

ペイント(P)タイプ つや有り



↑ シルバークレー



↑ ライトグレー

ペイント(P)タイプ つや消し

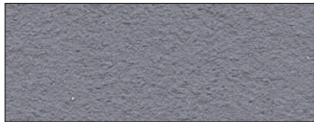


↑ シルバークレー

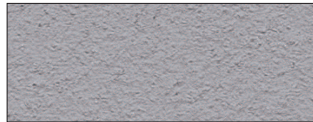


↑ ライトグレー

細骨材入り(S)タイプ



↑ シルバークレー



↑ ライトグレー

【標準施工・改修仕様】

アクアサーフONE(簡易防水)・ゴムシート・ゴムアスシート

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	下地処理					・ほこり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。
・ペイント仕様						
2	上塗り	WBトップセラP 清 水	100 (無希釈)	0.10~0.20	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
・骨材入り仕様						
2	上塗り	WBトップセラS 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー

砂付アスファルト

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	下地処理					・ほこり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。
・ペイント仕様						
2	上塗り	WBトップセラP 清 水	100 (無希釈)	0.20~0.30	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
・骨材入り仕様						
2	上塗り	WBトップセラS 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー

塩ビシート

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	下地処理					・ほこり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。
・ペイント仕様						
2	上塗り	WBトップセラ塩ビ用P 清 水	100 (無希釈)	0.15~0.25	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
・骨材入り仕様						
2	上塗り	WBトップセラ塩ビ用S 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー

※塩ビシートの表層が劣化している場合は、水性アスファルトシーラー(0.12~0.17/m²/回 ×2回 塗装間隔3時間以上)又はアスファルトシーラー(0.10~0.20kg/m²/回、塗装間隔3時間以上3日以内)を塗装してください。

下塗り仕様

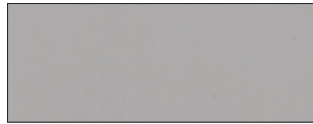
工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
・ペイント仕様						
2	下塗り (水系)	水性アスファルトシーラー 清 水	100 (無希釈)	0.12~0.17	2 (工程内)3時間以上 (工程間)3時間以上	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラP 清 水	100 (無希釈)	0.10~0.20	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
・骨材入り仕様						
2	下塗り (水系)	水性アスファルトシーラー 清 水	100 (無希釈)	0.12~0.17	2 (工程内)3時間以上 (工程間)3時間以上	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラS 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー

ウレタン塗膜防水

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	下地処理					・ほこり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。
・ペイント仕様						
2	上塗り	WBトップセラウレタン用P 清 水	100 (無希釈)	0.15~0.25	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
※ウレタン防水の表層が劣化している場合は、アスファルトシーラー(0.10~0.20/m ² /回 1~2回 塗装間隔3時間以上3日以内)を塗装してください。						
下塗り仕様						
・ペイント仕様						
2	下塗り (溶剤系)	アスファルトシーラー ススカシナー#2000	100 (無希釈)	0.10~0.20	1~2 3時間以上 3日以内	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラP 清 水	100 (無希釈)	0.10~0.20	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
・骨材入り仕様						
2	下塗り (溶剤系)	アスファルトシーラー ススカシナー#2000	100 (無希釈)	0.10~0.20	1~2 3時間以上 3日以内	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラS 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー

遮熱色【近赤外線反射率】50~80%

ペイント(P)タイプ つや有り



↑ CS パールグレー

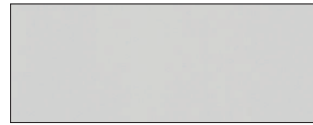


↑ CS プラチナグレー

ペイント(P)タイプ つや消し



↑ CS パールグレー



↑ CS プラチナグレー

細骨材入り(S)タイプ



↑ CS パールグレー



↑ CS プラチナグレー

※色見本は印刷のため、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

FRP防水

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	下地処理					・ほこり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。 ・旧塗膜がポリエステル系塗膜の場合、FRP防水層の劣化が軽微な場合やパラフィンなどの油分が残存している場合は、サンドペーパーやポリッシャーなどで表面を目粗しし、目粗し後の粉じんなどを除去後、アセトンでふき取り、十分に乾燥させてください。

・ペイント仕様

2	上塗り	WBトップセラFRP用P 清 水	100 0~3	0.15~0.20	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
---	-----	---------------------	------------	-----------	------------------------------	-----------------

・骨材入り仕様

2	上塗り	WBトップセラFRP用S 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
---	-----	---------------------	------------	-----------	------------------------------	-----------------

下塗り仕様

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
・ペイント仕様						
2	下塗り (水系)	水性アスファルトシーラー 清 水	100 (無希釈)	0.12~0.17	1 3時間以上	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラP 清 水	100 (無希釈)	0.10~0.20	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
・骨材入り仕様						
2	下塗り (水系)	水性アスファルトシーラー 清 水	100 (無希釈)	0.12~0.17	1 3時間以上	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラS 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー

ポリマーセメント系塗膜防水

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	下地処理					・ほこり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。
・骨材入り仕様						
2	上塗り	WBトップセラS 清 水	100 0~3	0.40~0.60	2 (工程内)3時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー

下塗り仕様

工程	使用材料	割合 (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗布 回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
・ペイント仕様						
2	下塗り (水系)	水性アスファルトシーラー 清 水	100 (無希釈)	0.12~0.17	1 3時間以上	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラP 清 水	100 (無希釈)	0.10~0.20	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー
・ペイント仕様						
2	下塗り (溶剤系)	アスファルトシーラー ススカシナー#2000	100 (無希釈)	0.10~0.20	1 3時間以上 3日以内	ローラー・はけ スプレー
3	上塗り	WBトップセラP 清 水	100 (無希釈)	0.10~0.20	2 (工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	ローラー・はけ スプレー



既調合形仮防水兼下地調整塗材

アクアサーフONE

(水性1液特殊アクリル系/16kg)

- 仮防水** 防水層を施工するまでの一時的な降雨にも安心な、仮防水タイプの下地調整塗材です。
 - 下地調整** ウレタン防水やシート防水などの各種防水材に適合します。 ※トーチ工法の下地調整には不適です。
 - 既調合形** 既調合タイプなので、セメント系下地調整塗材のような混合手間や可使時間の制約がありません。
 - 簡易防水** 既存防水層の劣化が軽微な場合、既存防水層を保護する簡易防水材としても最適です。
- アクアサーフONE専用 水性1液エポキシ変性カチオン形プライマー

アクアカチオンプライマーEPO

(水性1液透明型エポキシ変性カチオン系/16kg)

仮防水下地調整工法	仮防水および下地調整仕様		
	新設および既存防水層を全面撤去し下地調整する場合	ウレタン防水層・ポリマーセメント系塗膜防水材の部分撤去部を下地調整する場合	既存防水層を部分撤去後全面下地調整する場合
下地および既存防水層の種類	コンクリート・モルタル下地		ゴムシート・ゴムアスシート 砂付アスファルトなど
下地調整	<p><新設></p> <ul style="list-style-type: none"> ほこり、土砂、油污などを除去し、十分乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下) 下地の突起物、レイタンスなどは、ワイヤーブラシ、サンダーで取り除き、十分清掃してください。 <p><防水層撤去部></p> <ul style="list-style-type: none"> 既存防水層を全面撤去する場合、既存防水層を全面撤去後、残存する接着剤などはケレン除去してください。 既存防水層を部分撤去する場合、既存防水層の劣化が著しい箇所を完全に除去し、残存する接着剤などはケレン除去してください。 露出鉄筋、欠損部分は、事前にレベリング等のセメント系下地調整材で補修してください。 大きいひび割れなどは、カッターでV溝カットし、ウレタンシーリング材を充填してください。 既存防水層を部分撤去後、アクアサーフONEで全面下地調整を行う場合や簡易防水仕様の場合、既存防水層と防水層撤去部の段差は、予めアクアサーフONEで段差調整してください。 <p><既存防水層></p> <ul style="list-style-type: none"> 既存防水層に付着しているほこり、土砂、油污などを除去し、十分乾燥させてください。 ウレタン防水層切れなどは、ウレタンシーリング材で充填してください。 <p>※既存ウレタン防水層のトップコートがフッ素系の場合、予め試験施工を行い付着性を確認してください。</p> <p>※既存防水層のトップコートがシリル系の場合は、施工をお避けください。尚、やむを得ず施工される場合は、高圧水洗等によりシリル層を完全に除去してください。(既存シリル層は脆弱なため、残存すると剥離の原因になります。)</p>		
下塗り	下塗り不要	下塗り不要	<p>※シート防水の接着剤等が取り切れない箇所や吸い込みの激しい下地の場合は、アクアカチオンプライマーEPOを塗装してください。(簡易防水仕様参照)</p> <p>(塩ビシート面) アスファルトシーラー 0.1~0.2kg/m²×1~2回(無希釈) 塗装間隔:3時間以上3日以内(23℃) 塗装器具:ローラー・はけ・スプレー</p> <p>水性アスファルトシーラー 0.12~0.17kg/m²×1回(無希釈) 塗装間隔:3時間以上 塗装器具:ローラー・はけ・スプレー</p>
仮防水兼下地調整	(全面下地調整)	(撤去部のみ下地調整)	(全面下地調整)
各種防水層	各種防水材 ※トーチ工法は不適	ワンツーボウスイプライマー ワンツーボウスイDX ワンツーボウスイトップコート	または アクアボウスイプライマー アクアボウスイNEO ※詳細はボウスイシリル参照

簡易防水工法	簡易防水仕様(既存防水層の劣化が軽微な場合)		
既存防水層の種類	ウレタン塗膜防水・ゴムシート・ゴムアスシート・砂付アスファルトなど		塩ビシート
下地調整	上記の下地調整をご参照ください。 ※既存防水層の部分撤去面が広い場合は、簡易防水仕様ではなく、通常の防水仕様で施工してください。		
下塗り	<p>アクアカチオンプライマーEPO 0.1~0.12kg/m²×1回(無希釈) 塗装間隔:3時間以上(23℃) 塗装器具:ローラー・はけ・スプレー ※簡易防水仕様では、シーラーを必ず塗装してください。</p>	<p>アスファルトシーラー 0.1~0.2kg/m²×1~2回(無希釈) 塗装間隔:3時間以上3日以内(23℃) 塗装器具:ローラー・はけ・スプレー</p>	<p>水性アスファルトシーラー 0.12~0.17kg/m²×1回(無希釈) 塗装間隔:3時間以上 塗装器具:ローラー・はけ・スプレー</p>
簡易防水	<p>アクアサーフONE 0.8~1.2kg/m²×2回 希釈:0~5% 塗装間隔:5時間以上(23℃) 塗装器具:ローラー・はけ・コテ</p>		
上塗り	WBトップセラP・WBトップセラS		

※アクアサーフONE 乾燥膜厚 約1mm(塗付量2kg/m²/2回) ※FRP防水の改修は別途お問い合わせください。

施工上の注意事項

- アクアサーフONEは仮防水兼下地調整塗材です。仮防水下地調整工法では必ず防水層を施工してください。
- (塗装できない防水層)「カチオン系」は付着しないため塗装できません。「タール系」ウレタン防水材はタール分を抑制出来ない場合がありますので塗装できません。
- 知見の無い防水材に塗装する場合は必ず塗装前に予備試験を行い、異常のないことを確かめてからご使用ください。
- 塗装する前に、被塗面のこみ、油分等を十分に除去してください。特に素地がゴムシートの場合、窪みや不陸部分のこみ、花粉、土、泥などが溜まりやすい箇所、塗装の付着不良によりマッドコーリングとブリードを抑制できない場合があります。
- 「塩ビシート」はブリードを抑制できない場合があります。「WBトップセラ塩ビ用」をご使用ください
- 既存防水層の塩ビ防水シート・ウレタン防水の劣化が著しい場合やブリードする可塑剤量が著しく多い場合、上塗の膜厚が薄い場合では、ブリード抑制効果が低減し塗膜の粘着や変色を生じる可能性があります。
- FRP改修の場合は「WBトップセラFRP用」をご使用ください。「新設FRP防水材」はパラフィン層があり、付着しないため塗装できません。やむを得ず塗装する場合は、下地処理(目粗し、アセトン拭き)を行い、付着性を十分に確認してから塗装してください。また、旧塗膜がポリエステル系塗膜の場合、FRP防水層の劣化が軽微な場合やパラフィンなどの油分が残存している場合、サンドペーパーやポリッシャーなどで表面を目粗し、粉じんなどを除去しアセトンでふき取り、十分乾燥させてください。
- 5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念されるような場合は、塗装を避けてください。低温時には特に乾燥が悪くなりますので、規定量の範囲内で、できるだけ薄く均一に塗布してください。
- 強風時や降雨、降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 使用前に十分かき混ぜ、均一してから塗装してください。かき混ぜは、出来るだけ泡が混入しないように十分注意してください。
- 細骨材入り(S)タイプは重質の骨材が配合されているので、やむを得ず希釈(清水で3%以下)する場合は速やかに使い切ってください。骨材が沈降しハードケキになる場合があります。
- 塗料は一度に厚く塗りすぎると乾燥過程でクラックが発生する場合があります。特に細骨材入り(S)タイプは過度の厚塗りを避けてください。
- 塗料用具は、ハケ・ローラー・スプレーガン等が使用できます。使用後は乾かないうちに水で洗ってください。
- 塗装完了後、初期に急激な降雨にあった場合、ドレン部等に泡が発生することがありますが、この泡は塗膜中の界面活性剤によるもので、塗膜の異常によるものではありません。また、塗膜から界面活性剤の溶出により、COD値上昇の可能性がありますが、雨水が河川に流入するおそれがある場合、地域に排水基準に則した管理を行ってください。
- 屋上の雨水がドレンに流れず、直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、外壁の色に近い色目もしくは目立ちに近い色目で塗装してください。
- 特に、赤系色については、汚れが目立ちますのでご注意ください。
- 防水層の破断・ふくれ・はがれ・減耗など劣化の著しい場合には、防水層自体の改修を行ってください。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は、所定の時間を厳守してください。
- 屋上防水層の保護塗膜は太陽光による日射量が多いため、外壁や屋根と比べて塗膜の変色は進行しやすくなる場合がありますが防水層自体の保護性能を著しく低下させるものではありません。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。弊社仕様以外の仕様による塗膜欠陥には一切責任を負いかねますのでご了承ください。

取扱い上の注意事項

- ①塗料は、密栓して冷暗所で保管すると共に、凍結させないようにしてください。高温に長期間放置すると、変質し使用できなくなる場合があります。
- ②アスファルトシーラーは溶剤系です。十分に注意してください。塗装用具は作業後速やかにラッカーシンナー等で洗浄してください。缶内への湿気の混入を避け開栓後は速やかに使い切ってください。
- ③水性アスファルトシーラーはカチオン系ですので、一般塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般水系塗料に用いたハケ、ローラーなどの塗装器具を共有されずと固まることがありますので避けてください。
- ④捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- ⑤詳細な内容が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
 研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
 九州支店 ☎092-938-0071



URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。